

滅菌手順

当医院では、スタンダードプレコーション（標準予防策）という考えに基づいて洗浄・滅菌を行っています。つまり、すべての患者に感染の可能性があるとして対応しています。

洗浄機

当医院においては、使用後の器具の手洗いは全く行いません。手洗いによって周囲に汚染物質を撒き散らすことになるからです。また、作業者の安全を守り、事故感染を未然に防ぎます。血液や唾液が付着していても93度の熱水プラス酵素消毒洗浄剤によって自動的に、完全に洗浄できる Getinge ウォッシャーディスインフェクターを使用しています。



滅菌機



洗浄後の滅菌には、医科ヨーロッパ基準クラス B の滅菌機 Getinge ラピッドステリライザーを使用しています。医科ヨーロッパ基準クラス B とは、あらゆる種類の被滅菌物を安全に滅菌することができる、とされています。歯科で使用頻度の高い、タービンやバキュームといった中空の器具の滅菌ができます。残念ながら、医科ヨーロッパ基準クラス B をクリアしていなければ、滅菌に限界があることになります。

滅菌パックにて保管

保管は冷暗所にて、汚染されないよう行います。



オペ室

徹底した滅菌・消毒で、医科レベルのオペも可能です。完全に密閉されたオペ室で、出入りは、自動ドアのため手が触れません。手洗いもオート式です。



空気清浄機・オペ用ライト



大気中の浮遊粉塵を減少させ、清潔を保つため、エアークリーンを採用しています。NASA規格清浄度クラス 10,000 以下の医科レベルを瞬時に創る清浄機にて完全滅菌されたオペ室です。また、オペ用のライトは圧迫感のない、天井埋め込み型、小型の無影灯を使用しています。リモコンによって操作するため、手指の清潔を保ちます。

さらに詳しい説明はこちらから。

<http://www.kawasato-implant.jp/mov/feel2.swf>



タービン・コントラの滅菌

タービンおよびコントラを清潔に保ち、日々の臨床現場での滅菌は欠かせないプロセスとなっています。タービン・コントラのメンテナンスを的確に行うコンビネーション型滅菌器DACユニバーサルは、安全、確実、簡単を実現します。それはDACユニバーサル完全オートメーション化された滅菌プログラムのボタンを押すだけで、6つのインスツルメンツを約16分で滅菌完了ができるからです。すべてがコンビネーションオートクレーブ「DACユニバーサル」を使用することにより、的確で均質な滅菌ができます。また、滅菌プログラムの実施結果を毎回レポートできます。

